

定例記者会見

令和7年6月2日（月）13時15分

- 1 市政の動向
- 2 主な議案等のポイント
- 3 令和7年度 第2回補正予算のポイント



1 市政の動向

(1) 国主催の原子力総合防災訓練を12年ぶりに実施

2月14日からの3日間、川内原子力発電所の事故を想定した国・県・本市を含む関係市町が主催する原子力総合防災訓練を実施しました。

訓練では、令和6年能登半島地震を踏まえた道路損壊に伴う孤立集落からの住民救出・避難訓練など複合災害を想定した訓練に加え、本市独自でも大規模地震時の職員参集訓練や甑島における津波避難訓練などを実施しました。

また、中田宏内閣府副大臣と面談の中で、口頭で原子力防災体制の充実・強化と避難経路として使用する南九州西回り自動車道・阿久根川内道路の整備加速について要望しました。



(2) 子どもたちに木のぬくもりを。 市内12の幼稚園に木育製品を贈呈

3月6日、田中市長が会長を務める市みどり推進協議会が、県産材のヒノキで製作した積み木とキッズチェアを市内の12の幼稚園に贈呈しました。今後も、子どもの頃から木とふれあい、木のぬくもりを感じてもらうことで、木材の利用と森林を守り育てる豊かな心を育む「木育」を推進していきます。



(3) ホッケータウンに認定。今後の先駆的な取り組みに期待

3月8日、本市が公益社団法人日本ホッケー協会に、「ホッケータウン」として認定されたことに伴い、認定証交付式が行われました。

ホッケータウンとは、同協会設立100周年を記念しホッケーを通じた地域の活性化を目的に、ホッケー競技が盛んで、普及・振興に実績があり、先駆的な取り組みが期待される自治体が認定されています。



(4) 笑顔が集うフェスティバル「生涯学習フェスティバル&男女共同参画フェア」初の同日開催

3月9日、「^{いっさいがっさい}生彩楽祭 笑顔が集うフェスティバル～生涯「楽」習×ジェンダー平等」をテーマに、生涯学習フェスティバル&男女共同参画フェアを初めて同日開催しました。

^{うえの ちづこ}上野千鶴子氏によるジェンダー平等推進に向けた講演や、^{つかじ むが}塚地武雅氏のトークショーのほか、地域特産品の販売や体験型ワークショップ、子どもたちのジェンダー標語・ポスター展示も行い、世代を超えて学びと交流の輪が広がりました。ミモザの花束づくりやカルタ遊びなど、ジェンダー平等を楽しく学ぶ企画も好評で、笑顔あふれる一日となりました。



(5) 九州初の修繕代行事業が完了。天大橋の引き渡し式を実施

3月19日、国が修繕代行事業として令和元年度から進めてきた市道隈之城・高城線の天大橋修繕工事が2月下旬に完了し、市役所で引き渡し式を行いました。

国による修繕代行事業は、緊急性が高く高度な技術を要する工事を地方自治体の要請により担うもので、九州では今回が初の事例です。

天大橋は昭和59年に完成し、長さ517.6メートル、幅13メートル。国の直轄診断で劣化や損傷が確認され、橋脚のひび割れや中央接合部のたわみなどの修繕工事が行われました。



(6) フェリーニューこしき、22年間の役目を終える 新造船「結Lineこしき」が就航

3月5日、フェリーニューこしきの最後の運航があり、里・長浜の各港に訪れた市民に見送られ、22年間の役目を終えました。

同月20日からは新造船「結Lineこしき」が就航しました。これに先立って、同月14日からの3日間、内覧会やクルージングなどが行われ、多くの方が真新しい船内を楽しみました。



(7) 恐竜の時代へようこそ！

甌ミュージアム完成記念式典・内覧会を開催

3月23日、「甌ミュージアム」が4月1日に開館するのを前に、完成記念式典・内覧会を開催しました。

甌ミュージアムは、鹿島市民サービスセンターを改装して開館し、全身骨格標本10体のほか、500点以上の化石などを展示しています。

式典当日は、鹿島地区で新築の上棟式などで見られていた「タルナイ」と呼ばれる習わしが16年ぶりに披露され、参加者や住民の笑顔あふれる1日となりました。

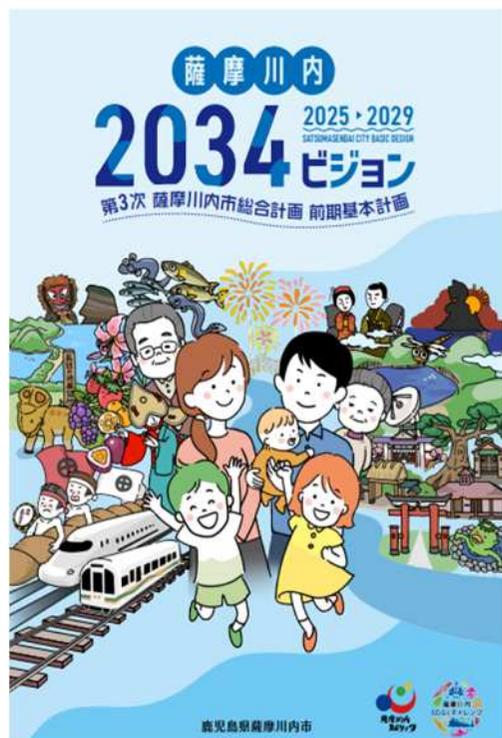


(8) 10年先を見据えて、第3次市総合計画に基づくまちづくりがスタート

4月1日、令和7年度から10年間のまちづくりの指針となる「第3次総合計画（薩摩川内2034ビジョン）」に基づくまちづくりがスタートしました。

本市が目指すべきまちのイメージなどを定める「基本構想(10年)」、政策の方向性などを体系的に示す「基本計画(前期5年・後期5年)」、取り組む事業を示す「実施計画（3年ローリング）」で構成されています。

また、地域の特性・強味を活かした取り組みを進めるために新たに市域を2圏域、6エリア、13地域、48地区としてゾーニングを行いました。



(9) 薩摩川内スマイルアクション50に着手

薩摩川内スマイルアクション50は、人口減少・少子高齢化が急速に進む中にあっても、次の世代のために本市の将来の可能性を最大限に引き出すことを目指し、「楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）」と、「人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）」を実現するため、特に力点を置く事業を示し、第3次総合計画前期基本計画の推進を補完するものです。

◇構成 ◎分野別事業

(1) 社会スマイル事業【はぐくむ】

➡ 15事業（新規：4事業）

- 少子化対策・子育て支援…… 7事業
- 安全・安心 …………… 3事業
- 地域デザイン…………… 3事業
- ダイバーシティ・社会教育… 2事業

(2) 環境スマイル事業【まもる】

➡ 9事業（新規：5事業）

- 自然環境保全…………… 4事業
- サーキュラー都市環境…… 1事業
- 次世代エネルギー………… 1事業
- 国土強靱化…………… 3事業

(3) 経済スマイル事業【つくる・めぐる】

➡ 19事業（新規：7事業）

- サーキュラー都市経済…… 2事業
- 産業人材確保・移住定住… 5事業
- シティセールス…………… 6事業
- 川内港臨海ゾーン開発等… 6事業

(4) 実現スマイル事業【つながる・まなぶ】

➡ 7事業（新規：3事業）

- スマートデジタル………… 3事業
- 財政健全…………… 1事業
- チーム薩摩川内…………… 3事業

(10) 県内初、女性消防団長に辞令交付

みやざと えいこ

4月1日、宮里英子氏に市消防団長の辞令を交付しました。女性の消防団長は県内で初めてです。

宮里消防団長は、平成14年、女性の団員募集を機に入団し、地域イベントや防災啓発活動を通じて女性の活躍の場を広げてきました。若い人たちにも親しみを持ってもらえるよう、時代に合わせたやり方で活動し、形にとらわれない消防団を作るため、チャレンジ精神を大切にしていきたいと抱負を述べました。



(11) 災害対応能力の向上を目的に、北薩3消防本部指令センター運用開始

4月1日、本市、さつま町、阿久根市、長島町からの119番通報を一括受信する北薩3消防本部指令センターの運用を開始しました。

消防通信指令業務を共同で整備し、災害発生状況や消防車両の出場状況の情報を同センターで一括管理することにより、一つの消防本部では対応が困難な大規模災害発生時でも、迅速な応援体制が可能となります。



(12) 就農者育成拠点施設「薩摩川内アグリセンター」オープン

4月1日、入来町と陽成町にある公益社団法人薩摩川内市農業公社事務所が東郷町斧淵の就農者育成拠点施設に集約され、「薩摩川内アグリセンター」として新たにオープンし、同月3日に開所式が行われました。

施設の利活用は、農業関係団体で構成する薩摩川内市就農者等サポート研究会において協議を行い、農業の担い手向けの研修事業や農作業体験、更には貸付農園事業を行うなど、幅広く農業に触れていただくための施設となるよう運営が行われます。



(13) 出水期に備えて、防災点検を実施

4月22日、災害関連事業の進捗状況及び出水期等の対処方法などの確認を行うことを目的として防災点検を実施しました。県北薩地域振興局や薩摩川内警察署などの関係機関及び地区コミュニティ協議会長など約50人が参加し、昨年の大雨等で発生した土砂崩れの現場などの災害現場の復旧状況を確認しました。



(14) 県内初、医療MaaS運用開始で甑島に「走る診察室」

4月27日、下甑手打診療所で、県内初の医療MaaSの運用開始に伴いセレモニーと内覧会を行いました。救急車やドクターカーなど車内で緊急性の高い医療行為を主として行う車両とは違い、通常の診察や患者観察など日常的な医療提供を行う「走る診察室」として運用されます。



(15) てらやまんち大盛況 こどもの日フェスタで特別企画を実施

5月5日、少年自然の家とせんだい宇宙館でこどもの日フェスタを開催しました。

今年は、特別企画で登場した大型エア遊具や肥薩おれんじ鉄道のミニトレインに子どもたちは夢中で、会場は歓声と笑顔であふれていました。



(16) 国、県、市町村合同の川内川総合水防演習を7年ぶりに実施

5月11日、川内川左岸で令和7年度総合水防演習を実施し、32機関・約1,130人が参加しました。消防団や高校生による水防工法、県防災ヘリと消防の水難救助訓練、自衛隊と連携した炊き出しなどの訓練が行われました。また、センノオトでは防災展、サンアリーナせんだいで避難訓練や健康相談、保存食の試食なども実施し防災意識の向上を図りました。



(17) 藺牟田池の魅力発信！ ラムサール条約20周年アンバサダー委嘱

5月18日、藺牟田池の守るべき自然の魅力をより多くの方々に知っていただくため、「藺牟田池ラムサール条約湿地登録20周年記念フェスタ 応援アンバサダー」を設置し、日頃から藺牟田池の情報発信を精力的に行っている新村和樹氏しんむら かずきと松若隆幸氏まつわか たかゆきの2名をアンバサダーとして委嘱し、委嘱状を交付しました。

藺牟田池は本年11月に、ラムサール条約湿地に登録されてから20周年を迎えます。これを記念して「（仮称）藺牟田池ラムサール条約湿地登録20周年記念フェスタ」の開催を予定しています。



(18) 県下一斉防災点検で塩田知事が視察

5月25日、県下一斉防災点検の一環で塩田康一鹿児島県知事が、本市の2か所の現場を視察しました。

令和2年に浸水被害を受けた隈之城川流域の復旧・防災対策現場と川内原子力発電所からの避難道路として整備が行われている県道川内串木野線を確認し、同行した田中市長からは県道川内串木野線の工事について生活・産業・防災における重要道路として、整備の加速をお願いしました。



職員の不祥事等に係る再発防止策について

4月28日公表の市職員の準公金の私的流用に関する事案、5月14日公表の市内中学校における個人USB紛失事案ならびに5月23日公表の里診療所における個人情報流出事案を受け、今後の再発防止策を各委員会で検討します。

再発防止策は各委員会により取りまとめを行い、四役・部局長で構成する政策会議で決定します。

○薩摩川内市職員不祥事再発防止策検討委員会

設置日：令和7年5月12日

委員長：行政管理部（契約検査室を除く。）を担任する副市長

○情報セキュリティ委員会・保有個人情報の適切な管理のための委員会

委員長：行政管理部（契約検査室を除く。）を担任する副市長

職員のハラスメントに関するアンケート調査について

本市におけるハラスメント防止対策の一環として、ハラスメントの状況及び職員のハラスメントに対する意識などについて調査を実施しました。

- 実施期間
令和7年4月21日～5月15日
- 調査対象
全職員（再任用職員・会計年度任用職員含む。）
- 対象とするハラスメント
カスタマーハラスメント、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント
- 今後の取り扱い
アンケートの集約・分析を行い、行政管理部（契約検査室を除く。）を担任する副市長を委員長とするハラスメント対策委員会において、ハラスメント対策マニュアルを作成し、四役・部局長で構成する政策会議で決定し、ハラスメント事案に対応していきます。

2 主な議案等のポイント

議案 合計 12件

- | | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 一般議案 | 7件 |
| 2 | 令和7年度補正予算関係議案 | 5件 |

報告 合計 10件

- | | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | 専決処分の承認 | 3件 |
| 2 | 継続費及び繰越明許費に係る
繰越計算書 | 7件 |

議案第72号

薩摩川内市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する 条例の制定について

市長及び行政管理部(契約検査室を除く。)を担任する副市長の給料月額について、2カ月間10パーセントの減額措置を講じようとするもの。

議案第74号

財産の取得について（トイレカー）

地域防災設備の充実を図るため、自走式トイレカーを取得するもの。

○ 数 量 1台

○ 取得金額 34,373,220円

○ 取得財産の概要

1 主な設備

男性用小便器	1基、	男性用大便器	2基
--------	-----	--------	----

女性用大便器	2基、	多目的用大便器	1基
--------	-----	---------	----

オストメイト便器	1基		
----------	----	--	--

2 配置予定先

薩摩川内市役所本庁

報告第5号

専決処分の承認を求めるについて（令和7年度薩摩川内市一般会計補正予算）

○ キャッシュレス決済による地域経済対策事業

キャンペーン期間の最終日（5月31日）まで事業を実施するため、還元ポイント等に係る手数料の増額を専決処分したもの

＜補正額＞ 4,000万円

＜補正後の事業費＞ 2億9,180万円

○ 一般会計

- ・ 補正額 2億9,689万1千円
- ・ 補正後の予算額

594億5,689万1千円

(前年度同期比 1.09%増)

特定離島ふるさとおこし推進事業

県の補助内示に伴い、特定離島ふるさとおこし推進事業を補正予算計上しました。

＜一般会計＞	＜事業費＞
1 特別養護老人ホーム鹿島園機器整備事業	111万円
2 特別養護老人ホーム甑島敬老園機器整備事業	881万円
3 市道江石里線側溝整備事業	1,000万円
4 市道藺牟田線側溝整備事業	1,000万円
5 消防団資機材整備事業	6,120万円 ※
6 鹿島小学校屋内運動場屋根防水改修事業	4,000万円 ※
7 給食センター施設設備整備事業	991万円 ※
8 ウミネコ留学制度事業	643万円 ※
9 トンボロ芸術村事業	274万円 ※
10 甑ミュージアム事業（展示施設整備）	1,999万円 ※
11 甑ミュージアム事業（調査、普及・啓発）	1,564万円 ※

※ 事業費の全額または一部を既に当初予算計上済み

事業費	合計1億8,583万円
うち県補助金	合計1億4,017万円

地域振興推進事業

県の補助内示に伴い、地域振興推進事業を補正予算計上しました。

	＜事業費＞
1 藤本滝公園施設整備事業	900万円
2 藺牟田池ラムサール条約登録20周年記念事業	556万円 ※

※ 事業費は既に当初予算計上済み

<u>事業費</u>	<u>合計1,456万円</u>
<u>うち県補助金</u>	<u>合計 728万円</u>

(1) 公用車NHK放送受信契約【新規】

ワンセグチューナー内蔵カーナビゲーション設置の公用車については、日本放送協会（NHK）と1台ごとに受信契約が必要であることが確認されたことから、車両導入時に遡る契約を行い、その受信料を支出します。

- 本庁・支所等の公用車 47台分（平成22年以降）

<事業費> 503万円

事項名：車両管理費（担当課：財産マネジメント課）

(2) 地域医療体制検討基礎調査支援事業【新規】

人口減少等で医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、将来の医療体制の適正化を目指し、今後設置を予定している協議会設立に向けて、将来を見据えた医療の在り方や救急・診療科等の機能分担の必要性等について専門機関への調査委託を行う川内市医師会に必要な経費を補助します。

○ 地域医療体制検討基礎調査支援事業補助金

<事業費> 550万円

事項名：地域医療対策費（担当課：市民健康課）

(3) 大規模下水道管路特別重点調査等事業【新規】

埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没を受けて、同種・同類の事故を未然に防ぎ、国民の安心・安全が得られるよう国からの要請により雨水管渠の特別重点調査を実施します。

- 雨水管渠点検業務
都市下水路 約4,148mのうち1,951m
- 調査対象
管径2m以上かつ平成6年度以前に設置された雨水管渠
- 調査内容
管路内目視調査

<事業費> 660万円

(4) 藤本滝公園施設整備事業【新規】

近年観光客が増加しつつある藤本滝公園の観光客受入体制を整備するため、公園内の施設を整備します。

- 事業内容：道路拡幅延長45m（全舗装延長165m）
- 事業期間：令和5年度から令和7年度まで

<事業費> 900万円

令和5年度実施事業



東屋の設置

令和6年度実施事業



人工芝スキー場設置

令和5・6年度実施事業



道路拡幅工事

事項名：公園管理事業費（担当課：都市整備課）

(5) 山中地区特殊地下壕等対策事業【新規】

住宅地背後に現存する特殊地下壕において、陥没が顕著で危険度が増し、放置し難いため、埋戻しを行います。



- 調査業務一式
- 充填工事
 $V = 69\text{m}^3$

<事業費> 2,800万円

事項名：災害予防応急対策費（担当課：道路河川課）